

日本区域麻酔学会会員の皆様へ

日本区域麻酔学会第9回学術集会
会長 垣花 学

日本区域麻酔学会第9回学術集会の開催について

3月に入り沖縄では暖かく爽やかな日が多くなってきましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

さて、日本区域麻酔学会第9回学術集会の現地開催（ハイブリッド形式）に向けて準備を進めております。新型コロナウイルス感染症流行の推移は、第6波のピークは過ぎましたがいまだ全国の新規感染者数は高く、下げ止まり傾向といわれています。沖縄県においては2月20日に「まん延防止等重点措置」が解除された後に新規感染者の増加傾向がみられましたが、現時点（3月15日現在）では減少傾向（実効再生産数：0.89(3月6日～13日)）へと転じております。このような状況の中、現地開催をどうにか実現したいと考え準備を行っております。しかしながら、今後の感染状況の推移によっては、現地開催を中止し完全オンライン開催へと変更する可能性もあります。そこで日本区域麻酔学会第9回学術集会開催方式に関して、以下のような基準に従って決定したいと考えております。

「日本区域麻酔学会第9回学術集会開催方式の決定基準」

- ①本邦の「新型コロナウイルス感染症対策に関する新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等」の「まん延防止等重点措置」の発令下においては、原則として日本区域麻酔学会第9回学術集会は現地開催を含めたハイブリッド開催とする。
- ②本邦の「新型コロナウイルス感染症対策に関する新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等」の「緊急事態宣言」の発令下では、日本区域麻酔学会第9回学術集会は完全オンライン開催へと変更する。
- ③沖縄県が独自に、「まん延防止等重点措置」以上の感染対策を考慮するような状況（例：沖縄県における感染拡大傾向が続き、それに伴い沖縄県専門者会議などが「緊急事態宣言」発令申請を考慮、あるいは沖縄県独自の緊急事態宣言について言及する状況）となった場合は、日本区域麻酔学会第9回学術集会は完全オンライン開催へと変更する。

日本区域麻酔学会第9回学術集会開催方式の決定は、上記基準に準じて2022年3月31日に最終判断いたします。

尚、日本区域麻酔学会第9回学術集会では現地における参加登録はありませんので、現地参加予定の方は、2022年4月8日（金）正午までに事前登録をお済ませいただくようお願い申し上げます。